

別府史談会二〇年の歩み

永井清廣

歴代会長名並に主要事績

邦 曆	西 曆	会 長 氏 名	会 員 数	主 要 事 項
昭和62年度	1987年度	豊田文一	230	<ul style="list-style-type: none"> ・「別府史談会」発会…会則設定 ・発会にあたり特に尽力された方々 脇屋長可・豊田文一・和田秀夫・ 相良範子・松岡実・安部巖・藤内喜六・ 後藤武夫・小玉洋美・竹長賢治・ 入江秀利・神不二夫氏ほか ・「別府史談」創刊号の発行（10月） ・総会記念講演会：中野幡能先生「宇 佐八幡宮と別府」 ・市内探訪会：亀川の史蹟と八幡竈門 神社
63	88	豊田文一	245	<ul style="list-style-type: none"> ・9月市議会「野田村中心の江戸時代 後半古文書」購入議決
平成64 1	89	豊田文一	234	<ul style="list-style-type: none"> ・7月9日安部巖副会長ご逝去 ・11月12日史跡探訪＝風土記の丘歴史 民俗資料館
2	90	豊田文一	199	<ul style="list-style-type: none"> ・別府史談第4号…別府の明治・大正 期特集
3	91	豊田文一	166	<ul style="list-style-type: none"> ・第5号…佐藤節氏「明治維新と大分 県」 ・特別講演は二豊諸藩主の動静を記録
4	92	豊田文一	160	<ul style="list-style-type: none"> ・第6号別府繁昌記（菊池幽芽）で明 治の別府がよくわかる ・「別府市の文化財と保護樹」（市教 委の市文化財調査委員）
5	93	豊田文一	174	<ul style="list-style-type: none"> ・藤内喜六理事長ご逝去（5月） ・第7号にその遺稿「寛永キリタン 塔」あり
6	94	豊田文一	180	<ul style="list-style-type: none"> ・史談会フィールドワーク…けべす祭・ 臼杵磨佛と亀塚の見学・鬼の岩屋等 の史蹟探訪
7	95	和田秀夫	192	<ul style="list-style-type: none"> ・前会長豊田文一氏・特別会員脇屋長 可氏・幹事神不二夫氏ご逝去 ・歴史探訪…（市内）石垣原古戦場 （市外）院内路
8	96	代 大野保治	161	<ul style="list-style-type: none"> ・3月前会長和田秀夫氏ご逝去 ・10号で「別府史談飛躍」大友信也先 生の「ウィルスで追う民俗の移動」
9	97	代 大野保治	167	<ul style="list-style-type: none"> ・11号より研修部企画で「忘れられた 遺跡の発掘」を始める。
10	98	代 大野保治	171	<ul style="list-style-type: none"> ・12号に講演要旨の特別執筆をいた だく 賀川光夫先生「黒塚古墳と三角縁神 獸鐘」 三重野誠先生「別府と大友氏」

平成11年度	99	(代) 大野保治	173	<ul style="list-style-type: none"> ・特別会員富来隆先生2月にご逝去 ・2号より12号まで各分野で寄稿され本会を指導下さった。
12	2000	(代) 大野保治	168	<ul style="list-style-type: none"> ・14号は加藤知弘先生の自信作「別府湾・海外交流の歴史」と「神」の4篇が特筆される。
13	2001年度	会長 大野保治	207	<ul style="list-style-type: none"> ・15号より従来のB5判からA4判に改革し「やさしく楽しい読み物」としての郷土史をめざす。また表紙を「別府湯けむり風景」や「歴史的建造物」などの写真にすることとする。 ・本号より市内・市外探訪記を研修部として掲載することにした。
14	2	大野保治	226	<ul style="list-style-type: none"> ・別府史談会創立15周年記念の総会・講演会・式典・表彰・祝宴を行う。日時：5月12日(日)10時、場所：ホテル三泉閣、講演：全田信子氏「文化財の活用」
15	3	大野保治	252	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問中野幡能先生ご逝去 ・17号は「石垣原の合戦」の特集号とした。
16	4	後藤重巳	247	<ul style="list-style-type: none"> ・18号より「別府史談」を会員の皆様の身近なものにするため「市内・市外史跡見学会感想」や「郷土史雑感」の項を起こした。 ・元理事土屋公照先生ご逝去(8月)又、史談会の推進や指導下さった故人の追悼論稿や研究原文を載せた。
17	5	後藤重巳	236	<ul style="list-style-type: none"> ・19号で油屋熊八や梅田凡平の実像解明のため京都学園大学堀田穰教授に特別寄稿していただいた。 ・会員の各家庭に埋もれた歴史遺産発掘のスタートとして、井上家蔵「石垣原合戦実録」(写し)を掲載させてもらった。 ・元理事長竹長賢治先生ご逝去(7月)
18	6	後藤重巳	232	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問安部定雄氏、元事務局長細谷毅先生ご逝去(2月) ・別府史談会創立を迎えるに当り元事務局長入江秀利先生にお願いし「別府史談会創立のころ」の玉稿をいただき掲載する。
19	7	後藤重巳	233	<ul style="list-style-type: none"> ・別府史談会創立20周年記念の総会・講演会・式典・表彰・祝宴を行う。日時：5月27日(日)9時 場所：つるみ荘 講演：八尋和泉先生「九州の佛像とその特質」

「別府史談」 総目録ほか

創刊号

創刊にあたって

宇佐八幡宮と別府

別府の行政事情（明治前期）

「諸用留」・「家宝珍事記」の時代

古代の別府と朱

ヒゲコという名のカゴ

地頭竈門氏について

西国筋郡代昇格（文書解読）

展墓吉弘神社祭神（漢詩）

局観音の由来について

一通の手紙と武家不断枕

第二号

鶴見由布をめぐる神々

別府の行政事情（明治前期2）

内竈の古墳と観音堂（手嶋家墓所）

別府の鏝絵

銭瓶石騒動始末

「八百屋お七」（盆踊り口説）

八幡朝見神社の神楽記録について

久留島藩鶴見村の産業

別府大庄屋初代堀助之丞吉正について

ふるき旅宿

安浪と安波

大友本陣の歌

竈門荘の莊域

鶴見嶽行常寺大勝院のこと

第三号

景行の豊後進攻と速津媛の奉迎

別府の行政事情（明治前期3）

土石流に埋もれた久光島

ポスポール（えせ役人事件）

竈門又太郎貞継道善

火男火売神社の事

豊後浄瑠璃への挑戦

藤田洋三

入江秀利

竹長賢治

小玉洋美

安部作男

安部和也

漆原辰雄

安波利一

平次郎

土屋公照

佐藤 暁

富来 隆

大野保治

佐藤 暁

入江秀利

土屋公照

安部作男

河野清文

虚子と祖母ノブ

安波利一

第五号

鈴木主水白糸くどき(盆踊り口説)

田中三生

明治維新と大分県

佐藤 節

安政の大地震(史料紹介)

安部和也

言葉と地名 鶴見・石垣原をめぐる

富来 隆

明治初年の農民蜂起(文書解説)

入江秀利

別府の行政事情(明治前期5)

大野保治

第四号

人(ひと)と言葉(ことば)

富来 隆

日露戦争当時の別府町の稲作指導

小玉洋美

別府の行政事情(明治前期4)

大野保治

地獄の噴気を利用した食べ物

藤内喜六

別府で開かれた「九州小安居」

佐藤嘉一

豊後明礬考―明礬曾所の設立まで―

入江秀利

名勝解説「別府温泉地獄巡り」

星野純郎

小倉藩人畜改帳について

安部和也

新開ハ御免蒙候(文書解説)

入江秀利

別府市街における盃状穴

佐藤 勉

別府を西南戦争の戦火より守った五人

安部和也

石垣原合戦の史跡について

矢島嗣久

別府の伝説 鎮西八郎為朝と別府

堀藤吉郎

「ふいが城」(発掘記録をもとにして)

土屋公照

我が家の宝塔

安部定雄

鉄輪方面修学旅行の記(明治杵築中学)

河野照之

それらしきこと―夢二と別府

大塚俊英

照湯に関する史料

佐藤 暁

別府市末行遺蹟の銅鐸型土製品

佐藤 暁

別府の伝説 悲しい女の性

堀 藤吉郎

日韓交流今昔

相良範子

第六号

富来 隆

菊舎尼と別府

佐藤 勉

別府のタタラ文化―言葉と地名(2)―

大野保治

別府繁昌記(大阪毎日新聞)

三面先生(菊池幽芳)

別府の行政事情(明治前期6)

矢島嗣久

元祿の笛器と古語への夢

別府の歌物語

「石垣原合口戦日記」(古屋家文書)

豊後明礬考(二) 天保の改革と明礬曾所

梨子地桐鳳凰中高時絵弓を得て

住吉様のお祭り(祭研究同人)

別府繁昌記(三)(大阪毎日新聞)

別府の伝説 聖の念力

豊後国速見郡村誌(抄)

日名子洋一

後藤武夫

安部和也

入江秀利

相良範子

入江秀利

菊池幽芳

堀藤吉郎

事務局

井上馨侯の別府潜伏とその前後

多賀神社のこと

朝見八幡様のお祭り(祭研究同人)

盆踊口説「与十秀浦心中」

別府の伝説 霊泉・霊湯

別府温泉繁昌記(四)(大阪毎日新聞)

豊国紀行・西遊雜記

長谷部吉貞

土屋公照

入江秀利

佐藤 勉

堀 藤吉郎

菊池幽芳

(抜粹紹介)

第七号

トビと、太陽と、エビス様(福神信仰)

寛永キリシタン塔(南石垣)

別府の行政事情(明治後期一)

大谷光瑞鏡如上人について

横灘文人庄屋列傳(幕末の庄屋たち)

別府市美術館と名作の周辺(二)

別府における石器人

松井文書「立石一件」について

天明大飢饉の口伝について

富来 隆

藤内喜六

大野保治

矢島嗣久

入江秀利

江藤 明

安部和也

佐藤 暁

相良範子

第八号

別府町の米騒動

中濱地藏尊の造立

鍛冶文化の変容―言葉と生活―

別府の行政事情(明治後期二)

キリシタン塔(北石垣・吉弘)

高岸源太郎と料亭「なるみ」について

鶴見村大庄屋直江氏について

エンヤンドッセーの掛け声が消えた

八幡竈門神社のまつり

豊後明礬開発の史料

「別府が、好きに」(市内歴史探訪記)

三重野勝人

安部和也

富来 隆

大野保治

藤内喜六

矢島嗣久

後藤武夫

入江秀利

土屋公照

佐藤 暁

國廣清光

別府温泉繁昌記(五)(大阪毎日新聞)

別府の伝説 怪力・鬼

史料 蘭海漁談

蝶斎起友著『温泉めぐり』(史料紹介)

菊池幽芳

堀 藤吉郎

脇 蘭室

佐藤 勉

史料 石垣原の戦闘(一)

帝国在郷軍人会大分支部

第十号

ウィルスで追う民俗の移動

盆の庭入りとバンバ踊り(天間地区)

「鬼ノ岩窟」と、鉄と、聖地

別府の行政事情(行政年表)

ローマ法王様訪問記

斎藤茂吉、中村憲吉の来別

別府を訪れた文化人たち

別府と毛利空桑

吉弘嘉兵衛統幸について

別府萩屋ものがたり

別府歴史散歩(二) 伝説と棚田の里・内成

史料 石垣原の戦闘(二)

帝国在郷軍人会大分支部

大友信也

松岡 実

富来 隆

大野保治

相良範子

佐藤嘉一

大塚俊英

安部和也

矢島嗣久

入江秀利

第九号

佐藤慶太郎と別府

よみがえれ別府市公会堂

—近代文化遺産—

鼠ノ石窟と土蜘蛛(付、速津媛のこと)

別府の行政事情(明治後期三)

間宮英宗の来別に関して

第一回国勢調査と別府

大友持直について

赤米とさつまいも

別府の秋葉神社考

立石天満神宮の「すぼふり」

別府歴史散歩(一) 北石垣の西域コース

別府の伝説 動物アラカルト

別府温泉繁昌記(六)(大阪毎日新聞)

江藤 明

星野純郎

大塚俊英

富来 隆

大野保治

佐藤嘉一

小玉洋美

矢島嗣久

入江秀利

安部和也

伊東英俊

日名子洋一

堀 藤吉郎

菊池幽芳

第十一号

時宗寺院松寿庵について

別府太郎・次郎および鷹の「塚」

別府市立図書館所蔵・和本整理の記

小泊立矢

富来 隆

佐藤嘉一

赤野城と雄城氏

御許山に錦旗が立った(小浦村庄屋記録)

亀川の信仰について

別府の伝説 由布岳・鶴見岳

忘れられた遺跡の発掘(一)

別府の歴史散歩

石垣原合戦の背景と原因

石垣原古戦場をたずねて

豊後国志 附函(速見郡)

史料 鶴見照湯山瑠璃光堂温泉略縁起

第十二号

黒塚古墳と三角縁神獣鏡

別府と大友氏

別府の町や村のこと(明治前期)

トビ(竜蛇)神と南方文化

速見の「土蜘蛛」と「田野」について

土屋文明の別府来訪に関して

大友左兵衛督義統について

勘定奉行になった庄屋

安部和也

入江秀利

相良喜久子

堀 藤吉郎

研修部

矢島嗣久

探訪部

探訪部

探訪部

探訪部

賀川光夫

三重野 誠

大野保治

富来 隆

安部和也

佐藤嘉一

矢島嗣久

入江秀利

入江秀利

山家むかし語り(一)

随想 武将の生まれ変りは女

忘れられた遺跡遺物の発掘(二)

火売町の民俗行事

伝説 僧侶の霊異

高崎山城と柞原宮(夏の歴史探訪会)

史料 立石村手控

史料 立石村手控

史料 立石村手控

史料 立石村手控

大分県の歴史風土をみる

江戸時代の別府景観 村のなりたちと生活

神祇式内社 火男火売神社(一)

わが町別府再発見 個性のある町づくり

書簡が語る真相 松井佐渡守の立石合戦

「武家不断枕」について

田原紹忍親賢について 大友吉統の重臣

石垣護生院 行圓上人木像の由来

路傍の石仏・墓石 山家むかし語り(二)

大平安行

島 節子

研修部

高橋憲二

堀 藤吉郎

堀 藤吉郎

堀 藤吉郎

堀 藤吉郎

堀 藤吉郎

秦 政博

後藤重巳

大野保治

河村建一

入江秀利

安部和也

矢島嗣久

佐藤正映

大平安行

佐藤正映・他

別府歴史散歩 羽室御霊社・姫山メンヒル

忘れられた遺跡・遺物の発掘(三)

地獄 江戸時代の別府温泉の記録(二)

史料「松井家譜」

研修部

入江秀利

忘れられた遺跡・遺物の発掘(四)

懐かしい別府の情景

研修部
入江秀利

第十五号

(巻頭文)「別府史談」第十五号発刊にあたって

会長 大野保治

追悼文―特別会員・賀川光夫先生を偲んで

縄文・弥生時代の研究―中心課題、一貫して追い求める―

加藤知弘

追悼論稿(再録)―史談会元副会長・松岡實先生を偲んで

盆の庭入とバンバ踊り―別府市天間地区―

(故)松岡 實

新聞報道に見る「別府的ヶ浜事件」について 末廣利人

別府温泉の生成過程と温泉資源の有効利用の保全

由佐悠紀

鉄輪温泉開基の一遍聖人とその生涯

野田区祭組

「大平山」(扇山)こぼれ話

石垣原合戦に出陣した野津原郷士と永富家三兄弟

矢島嗣久

第十四号

別府湾・海外交流の歴史

麻生太吉翁と川田十氏

宇佐八幡はなぜ天皇家の祖廟か

神祇式内社 火男火売神社(二)

日本人と「神様」信仰を考える

「式内火男火売神社」補稿(一)

神仏分離 八幡竈門神社の場合

別府(横灘)の江戸時代

複雑な支配の移り変わり

地神盲僧琵琶

成就院玄清法流について

仲屋の「天神水」朝見糸永家のこと

耳川の戦い

温泉 江戸時代の別府温泉の記録(二)

加藤知弘

矢島嗣久

安部和也

大野保治

大野保治

土屋公照

入江秀利

佐藤正映

岡部光瑞

森 正人

入江秀利

小学校の開校年をめぐって

別府の「俳壇」今昔

平成十二年度 市外探訪報告記

平成十三年度 市内探訪報告記

手嶋宏治

甲斐梶朗

安部勝止

矢島嗣久

『歴史散歩・泉都別府のあゆみ』

安国寺由来記

別府における算術教育(1)

朱湯山寛徳院 長泉寺略縁起概況

朱湯山寛徳院 長泉寺史

「ひょうたん温泉」始末記

十五周年記念総会について

平成十三年度 市外探訪記

平成十四年度 市内歴史探訪記

清原 明

義沖 光

恒松 栖

芹川昭教

(故) 安部 巖

編集部

編集部

編集部

編集部

第十六号

(巻頭言)『別府史談』第十六号発刊にあたって

安部巖先生追悼記

埋没三百年の像(遺稿)

兼子イズムの実践者

私と「考古学」(遺稿)

温泉と温泉地療法

新「別府温泉」へ私の提言

続『小倉藩人畜改帳』横灘別符村について

私の履歴書(遺稿)

シベリア抑留で「二十五年」の判決を受ける

撃墜されたB29と一人の宇佐航空隊員

石造文化への思い

白蓮と伊藤伝右衛門

会長 大野保治

(故) 安部 巖

栗原 稔

(故) 賀川光夫

安田正之

浦 達雄

安部和也

(故) 河村友吉

加藤一英

広末九州男

加藤義則

矢島嗣久

第十七号

(巻頭言)『別府史談』第十七号発刊にあたって

寛永キリシタン塔

藤内喜六先生の想い出

「石垣原合戦」の実像を探る

吉弘神社と四百年祭

大友本陣跡を守る会

石垣原合戦と豊後永富家

石垣原合戦余話

北的ヶ浜町三の八 永富 忠

原町(会員) 坂石 要

会長 大野保治

(故) 藤内喜六

亀川町内竈 土屋公照

緑ヶ丘町 三重野勝人

神社総代表(実相寺町) 下和田 巖

事務局長 沼田岩夫

北的ヶ浜町三の八 永富 忠

原町(会員) 坂石 要

別府と政府密偵暗殺事件

日出町 佐藤 節

大分県の中の「朝鮮」

亀川中央町(賛助会員) 溝部 仁

私の戦争体験記

朝日ヶ丘町 白石 昇他

「温泉マーク」由来記

馬場町(会員) 外山健一

油屋翁を偲び宇和島へ墓参

編集部

鶴見郷「蓮箱台寺」秘話

鶴見町(旧町名+原)(故) 安部作男

火男火売神社の由来

宮司 加藤兼司 権弥宜 牧 弘之

郷土の歴史と文化を探ろう

編集部

市内・市外史跡探訪会

編集部

第十八号

はじめに『別府史談』第十八号発刊によせて

会長 後藤重巳

〈追悼論稿〉

宇佐八幡宮と別符(府)

中野幡能

論説

別府湾の謎に迫る! 「瓜生島と沖の島」について

加藤知弘

「別府温泉」突き湯第一号解明

外山健一

井上馨侯と若松屋松尾家

矢島嗣久

油屋熊八翁の実像を探る

三重野勝人

講演会講師論稿

*平成十六年主催講演会について

研修部

「江戸時代の刑罰」について

芦刈政治

仏像の見方

渡辺文雄

史跡探訪レポート

研修部

市内―浜脇界隈

市街―宇佐・高田の神社と寺院

(平成十五年)市外探訪上野丘と県立図書館

《見学会感想》

歴史の道を探ねて

安光良子

市外見学会に参加して

池辺伊久夫

「南無阿弥陀仏」特別展を見学して

細谷 毅

郷土史探訪

市長が明かす「浜脇温泉」の歴史

浜田 博

宇佐八幡神 東大寺へ参拝

大野保治

鶴見岳は天の香具山

(奈良県会員)

水野孝夫

別府今昔あれこれ話

大野保治

第十九号

はじめに『別府史談』第十九号発刊にあたって

会長 後藤重巳

論説

《特別寄稿》

油屋熊八・梅田凡平・お伽船

堀田 穰

温泉地の輪廻からみた別府八湯と今後の課題

浦 達雄

別府における伝統産業(1)

恒松 栖

国東山寶蓮寺専建をめぐる新史料

後藤重巳

内成の棚田について

佐藤末喜

講演会講師論稿

*平成十七年主催講演会について

研修部

別府八湯ものがたり

平野芳弘

大分県の歴史と文化財について

渋谷忠章

大分県町村合併のあゆみと別府

加藤泰信

史跡探訪レポート

研修部

市内——竹瓦界隈歴史散歩

第二十号

市外——竹田岡城址・竹田歴史資料館・愛染堂・あざみ台

はじめに『別府史談』第二十号発刊によせて

——別府史談会創立二十周年に想う——

市内史跡見学「竹瓦界隈歴史散歩」に参加して

後藤徳義

史談会市外史跡見学会初参加の記

石川文夫

竹田の町・岡城址を訪ねて

禿 カツ子

史談会市外史跡見学会に参加して

光永佐恵子

別府史談会 市外探訪記

平松 卓

郷土史探訪

浜田温泉誕生秘話

外山健一

お大師さま異聞

(非会員) 大野三千四

回顧 学徒動員の記

永井清廣

流川及び「名残橋」探索

衛藤秀子

会員「刊行物」紹介

研修部

史料紹介

堀田井上家古文書

「石垣原合戦実録 全」(井上友介氏蔵)

研修部

史跡見学会感想

会長 佐藤重巳

別府史談会創立二十周年記念論稿

『別府史談会』創立のころ

元別府史談会事務局長 入江秀利

論説

別府市における埋蔵文化財発掘調査の歩みと遺跡保存

永野康洋

別府近現代新聞史をひもとく

外山健一

丸山待子と小松屋河村家

矢島嗣久

詳説・大正七年別府の町の米騒動

三重野勝人

別府における伝統産業(2)

恒松 栖

講演会講師論稿

恒松 栖

*平成十八年主催講演会について

湯の花小屋のひみつ

石垣原合戦と史跡

身近な文化財―石造文化財について―

史跡探訪レポート

市内―石垣原合戦と史跡

市内―安心院・院内の石の文化

史跡見学会感想

市内―別府史談会見学会に参加して

自分の学んだ郷土史学習

史跡見学会に参加して

市外―史跡探訪の記

桂昌寺跡・地獄極楽洞窟を見て

郷土史探訪

伝大友軍道―山中に取り残された道―

古戦場公園の由来と温研所長のことども

堀田の五百羅漢について

わが家に通ったある特攻隊員の思いで

(非会員) 井上友介

史料紹介(石垣原合戦関係)

貝原益軒『豊国紀行』

古川古松軒『西遊雜記』

「北白川宮覽古碑」碑文(在堀田)

「石垣原合戦記」(寛文十年記・外山健一氏蔵)

河村幸夫

矢野春海

佐藤正映

清原 明

義沖 光

矢野春海

井上友介

(非会員) 佐藤雅彦

研修部

研修部

研修部

研修部

研修部

研修部

石川 学

石川 学